

Ca

人にとってのカルシウムの真実

骨のためだけでなく 生命維持に必須

人間にとってカルシウム(以下Ca)とはなくてはならないもの。10,000:1という絶妙な濃度比で体内バランスを成り立たせます。そのうち99%は骨や歯に貯蔵され、残りの1%が血液や体液に含まれ、生命維持の重要な働きをします。この濃度比が崩れると人体の生理機能は重篤な危機に陥ってしまうという絶対のバランスなのです。

与那国の化石サンゴは 炭酸カルシウム その驚異の人体吸収率の秘密

Caは自然界で単体では存在できません。必ず塩類の酸と結合しています。炭酸Caは摂取すると胃の酸によってCa単体に分離され、他のどの結合Ca類よりも高い40%の吸収率で体内吸収されます。

牛乳は動物性のリン酸Caとして吸収されます。リン酸Caの吸収率は14.3%。吸収率がよいといわれる牛乳でもその差は歴然です。吸収率がよいということは、たとえば摂取量が少なくても、より効果的にCa摂取が可能になるということ。それが化石サンゴ＝炭酸Caでの摂取が望ましい理由です。Caの種類をご自身で確認し選択することも大切です。

不足するとおこる 骨からの溶出と、血管の硬化

Caがあまりにも不足すると、脳からの命令で自身の骨からCaを採りはじめ(副甲状腺ホルモンの働き)、骨粗しょう症をはじめとした諸症状を引きおこします。また、次々と骨から溶け出したCaは(食事摂取とは異なり)過剰となり、体内を巡り血管内に付着沈殿して、結石や動脈硬化の原因になるといわれています。

カルシウムの摂取は 多くてもいいのです むしろ不要物の排出を促します

Caの過剰摂取が問題であるというのは全くの誤解です。人間の体には素晴らしい機能があり、不要とする量のCaは体が適宜に判断して、その都度排出してくれます。Caの排出だけでなく、体内の不要な塩分や重金属などを吸着してその多くを体外へ排出してくれます。

逆に「不足」が続くと、先述のような重篤な状態に陥りやすいことも併せて考えると、推奨の1日600mgだけでなく摂取量とCaの質の再考が必要です。中年以降の女性に多い骨粗しょう症予防も含め、少し多めの摂取を心掛け、体内バランスを健全にする方法を選びたいものです。

与那国島の神秘

奇跡の化石サンゴ

人を癒し自然を救う。島の先人の知恵の秘密が科学の力で解明された。

●お問合せ



発売元 ■ 株式会社 環境保全研究所 [WEBサイト](https://kankyo-hozen.biz/)
〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545-5896
TEL.0551-48-5300 FAX.0551-48-5388
<https://kankyo-hozen.biz/>



●パンフレットの内容は2024年8月のものです。●商品デザイン、仕様、価格は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。●パンフレットに掲載されている全ての商品情報・写真などの無断転載・複写・複製を禁じます。

Yonaguni
Fossil Coral Story

与那国島の「化石サンゴ」を知るとは 人間の生命維持システムそのものを学ぶことです。

サンゴは地球で初めて酸素を作り出した生物でした。通常の化石サンゴは170～250万年前のものがほとんどですが、ここで解説する与那国島の第四紀層「化石サンゴ」はなんと10万年しか経っていません。その時間と海流の魔法が作り出した「炭酸カルシウム」はまさにサンゴで出来た島「与那国」の海の奇跡。私達が海から来た動物である事を再認識し、今でもその恩恵に頼る事が出来る神秘を実感できます。

1 化石サンゴは上質な天然ミネラルを74種以上保有。
良い炭酸カルシウムが生命システムの鍵。

古来、産後数日の女性に化石サンゴとニラを煮だしたスープを与えていたという事実。



与那国島のある沖縄八重山諸島周辺では、産後4日目の妊婦に、浜にある枝サンゴとニラで作ったスープを与えた後で産室から出す風習がありました。出産により不足する血中カルシウム濃度を補う適切な方法は古くから先人の知恵として存在したのです。

また各家にはサンゴの石垣があり、アセモやオムツかぶれにこのサンゴの粉を溶いて使用するなど、昔から生活の中で自然と用いられていたのです。

地球の命の源、炭酸カルシウム。



炭酸カルシウムは地球のような惑星にのみ存在し、生命の存在を象徴する物質といわれます。地球誕生の日から海という存在に溶け込んだ二酸化炭素と、石灰質の殻を持つ生物が堆積し気の遠くなる長い時間を費やしてともに蓄積された命の象徴。与那国島に産出する化石サンゴにその奇跡の姿を見ることが出来ます。

人は海から…
化石サンゴの天然ミネラル。

化石サンゴにはカルシウム以外にも、必須ミネラルをはじめ74種を超えるミネラルが含まれています。豊富なミネラルがバランス良く含まれており、それは原始地球から繋がる天然の命のバランスといえるでしょう。



海のミネラルを食べながら光合成し核分裂するサンゴ

陸上鉱山産出で食品として認可されているのは、この与那国化石サンゴの炭酸カルシウムだけなのです。

化石サンゴは、そのサンゴや有孔虫、石灰藻、二枚貝などが海底に堆積し化石化したものですが、与那国島では太古の海面が陸上に残り化石サンゴとしてその姿を現しています。



食用は1からわずか65～70kgしか生産出来ない貴重なもの。



食品として使用出来るものは、全体の6.5%～7%の希少なものです。ただし、その残りの93%はろ材、吸着材、家畜の飼料等に有効利用されています。自然からの恵みは100%利用され無駄なく役立っています。

比率が人間に近く、胃酸で理想的に体内に吸収。

地球からの贈り物、化石サンゴ。その成分は人間のミネラルバランス（人間のカルシウム割合は約35%、化石サンゴは約40%）と近い割合になっています。また、体液、血液、羊水などの生体水成分とも極めて近い成分を持ちます。これは化石サンゴの特長ですが、それぞれが海の成分から生まれたものと考えれば理解しやすいことでしょう。

2 化石サンゴの炭酸カルシウムは吸収率がなんと40%。

牛乳の約2.8倍、蛎殻炭酸カルシウムのなんと約6倍の吸収率。

カルシウムはその原料の素材や製造工程により様々な特性があります。中でも人体に最も吸収されやすいカルシウムが「炭酸カルシウム」です。化石サンゴには良質で純度の高いこの炭酸カルシウムが40%近く含まれています。天然特性を活かすため高熱処理ではない乾燥による粉末化により、人体への吸収率がより高くなっています。40%の吸収率は他の素材に比べても格段の高さです。

人が1gのカルシウムを摂取するのに必要な化石サンゴの量はわずか2.5g。

不足しがちなカルシウムを1日1g摂ろうとした時、その吸収率から考えると、化石サンゴの場合は2.5g。蛎殻高温処理（炭酸カルシウム）15g、でんぶんのり（乳酸カルシウム）6g、牛乳等（リン酸カルシウム）7gとなります。【別表1参照】その吸収率から最も効率よくカルシウムを摂取できるのが化石サンゴであることがよくわかります。

※1日に必要とされる量は成人で600mg

170～250万年かかるものがなんと10万年で奇跡の化石化。驚異の水溶性の理由は「若さ」。

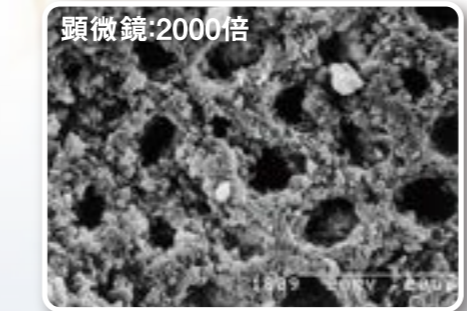
建築石材には不向きな軟らかい石・化石サンゴ。化石も更に長い年代堆積すると硬いカルサイトという結晶構造になってしまいます。与那国島の化石サンゴは10万年の奇跡の若い化石。これは「アラゴナイト」と呼ばれ、やわらかで水に溶けやすい結晶構造。しかも与那国島では露天でアラゴナイトの状態が残っているという大変貴重な化石サンゴなのです。

ティースプーン1杯が約2.5g



3 驚くべき多孔質で有害物質を吸着し、金属イオンを99%除去。

化学物質を吸着する力は生まれつきでした。



顕微鏡・2000倍

重金属類・カビ毒・大腸菌・黄色ブドウ球菌なども吸着し制します。

実験データの結果を見ると、その多孔質である化石サンゴに有害な重金属類や農薬、細菌を吸着除去する能力が見てとれます。また、カビ毒を閉じこめ、大腸菌や黄色ブドウ球菌の吸着結果も得られています。

それは殺菌ではなくまさに制菌。良い菌は大切にします。

有害菌を殺すのではなく、孔に封じ込め抑制する。それは制菌、静菌とも呼べるものです。体内に有るものは共存共栄。バランスのとれた状態にあるため、有害なものを制して整えてくれるのです。

化石サンゴ
重金属除去率表

重金属類	除去率(%)
カドミウム(Cd)	99.96
銅(Cu)	99.86
鉛(Pb)	99.52
鉄(Fe)	98.70
ニッケル(Ni)	96.70
亜鉛(Zn)	93.04
ヒ素(As)	63.60
クロム(Cr)	45.00

【別表1】

素材の違いによるカルシウムの吸収率と必要量

種類	素材	1g摂取に必要な量	吸収率
炭酸カルシウム	化石サンゴ	2.5g	40.0%
	カキ殻高温処理	15.0g	6.7%
乳酸カルシウム	でんぶんのり	6.0g	16.7%
リン酸カルシウム	牛や豚、魚の骨、牛乳	7.0g	14.3%
グルコン酸カルシウム	たまごの殻	11.0g	9.1%

4 人には1日600mgのカルシウム。

なんと5割の女性が骨粗しょう症。

カルシウムは人の生命維持に欠かせない重要な成分です。1日に必要とされる量は成人で600mgとされていますが、摂取平均値を出すと日本人は摂取量が不足しています。体内カルシウムの99%は骨などに蓄積され残りの1%が血液や筋肉で機能するカルシウムです。この1%が不足すると貯蔵されたカルシウムが流出し骨粗しょう症などを引き起こします。とくに女性の場合、60代で約三割が、70代では五割近くが骨粗しょう症になっています。



寝たきり原因の第2位が骨折です。

骨粗しょう症になると骨折しやすくなります。とくに女性の場合、寝たきりになる原因の第一位は脳疾患、第二位が骨折です。

多孔質で天然由来の化石サンゴ。少し多めの摂取で代謝を活性。

与那国島の天然由来の化石サンゴは

- 体に吸収されやすい炭酸カルシウム
 - 水に溶けやすい結晶構造
 - 豊富な天然ミネラル
 - 人体とカルシウム含有比率が近い
 - 重金属類・有害菌などを吸着する能力
- など世界的にも類を見ない抜群の品質をもちます。太古の自然の恵みにより、理想的・効果的なカルシウム摂取を行いたいものです。

5 畜産利用にも効果発揮。体内化学物質を吸着しさらに制菌!

雑菌やカビ毒等を押さえて、乳牛等の免疫力が上がりました。

カビ毒は畜産業者にとって実は深刻な問題です。カビ毒のマイコトキシンが家畜の飼料に含まれることにより、家畜・乳牛等の食欲不振や嘔吐などの中毒症状を誘発します。これによりエサを食べる量が減り、牛乳の生産量が減少。免疫力が低下し、病気にかかりやすい状態になり、また繁殖能力が低下、受胎率の低下や産産が増えるといった問題が次々生じるのです。飼料のカビ毒汚染を防ぎ、摂取されたカビ毒の家畜への影響を低く抑えらるることに日々苦慮する状況がありました。

補給飼料として化石サンゴをプラス。乳牛が健康に!

乳牛の補給飼料として化石サンゴが使われています。吸着作用によりカビ毒を閉じこめ、またカルシウムを中心とするミネラルの溶出により乳牛を健康へ導こうという取り組みです。成果として、乳質の改善や乳量の増加が見られ、さらに繁殖成績の向上が得られています。化石サンゴを与えることで代謝が活性化され、採食量が安定増加し、乳房炎の減少、受胎率の向上など、2～3ヶ月で徐々に効果があらわれています。これぞ制菌効果。抗生物質などの薬品使用ではない、共存共栄のバランス効果が実証されているのです。

分析試験成績書



真の健康と美を求めるなら、現代生活で入ってしまった不要な金属イオンを体内から排出する事も大切ではないでしょうか。

Yonaguni
Fossil Coral Story

世界でも希少な10万年ほどで形成された、与那国島で採取される化石サンゴ

サンゴでできた島、与那国ならではの陸上の化石サンゴ採取場